環海異聞

六

3567
18-5

環海異聞巻之七

天竺国異説第十二

一アリシニ　レイヤと彼邦の政人　我邦の政人等

彼邦の政人等　彼邦にて高官

位ありしアリシニ　と人を尊ぶこと

とふ　彼邦にて工匠　職業をこと

を清潔とす　レイヤの曲人の人を見て

お七人あり　彼邦にてレイヤと

東洋文庫蔵書印
東洋文庫

天保天ゼ

ボアリシンとふ世ゝまこふるん　ヒの一つよ天保天ゼ

ゼヲエヒェんとふ　なり

曲をうねゝ木ゝゝ　ゝ作

なるものゝ

ゝ方サンシ　ゝ方のゝ

ゝゝゝゝ　とふゝ　ゝ合セなるがへうョーニス

一後里　なり　ゝ方の後ゝ　ゝゝと少ゝ

郡内道中一里毎ゝよ　後抜遠ゝゝ寛

政和年中に高麗を攻めとれり

人形の内イツンヘリツイテシハ日本人の形なり

ゆうと政部境地の沒を初む日本の一里

とふを箱館より松前のうち間と申候

なるオロシヤの三里半の内かしぬけろと

漂流人日本語ヲ語リ申

附

同六年に高麗オロシヤの里法と和

蘭文書を法に所とんく方を説

エリシヤ　彼邦人　神方　曲尺山尺寸法ハ仏堂

ヨアリシヤ　彼邦人　神方　曲尺三尺　法ハ仏堂ミモ

ゼウエル　彼邦寺　神方　曲尺伊勢九ふ　三尺ミモ仏堂ミモ

サセン　彼邦方人　アリシヤの二侯　神方　曲尺三尺の九ふ　三尺

ヨールス　彼邦一里　サセン　青竿　神方　曲尺九所八ふ　五尺四寸七

寄贈　丙寅和訳間氏と天竺の役宅訪

光之丞　今ち　法師　ハナケワイシ　し半ふ乃ち光之丞

四彼方廻ゑ　サセンい　神西の七人参八ふと問る

しかるに五百余年後彼之星ヨルスケ
伊尾源氏ふ不ヒハの長あり其人
の名サヒ一里の名ウヨー又し消ヒ遠ク
知た光を又ふ信記す不的実ヨ明
しかる又ふ光ふの後を以記ヒ因
不ふふ寡半し御ヒよサヒ秘典ふふ
七人参作
五百ヒ合すヒいヒふ五百但稽人跡年
毛我方の九町八ふふふ和邦

の三屋い沙吾六十万九千　三万沙

五百六十八万　俵く合方　出る

魯西亜の三屋六ゝくい見るの三屋なり

口十屋い　口沙屋七三百八一文

口百屋い　口沙拾七屋三百八文

口千屋い　口沙百七拾三屋百八文

口万屋い　口沙千七百三十六屋百八文

右俵中数屋数を記せるものは算法なり

今ハ考ヘ知レ難シ

和泉書都ヨリ又仙臺濱宮ヲ過キ多賀ノ郡ヘ

相仙臺濱宮等ハ[illegible]ヲ新郡ヘ[illegible]

ルカ近キ故里数七ヶ里ヨリ[illegible]石巻港迄

ヘキ郡ノ二十五吉程ハ里ノ三ヶ[illegible]

濱宮等ハ日ハ七ヶ里セームヲイ[illegible]ザ[illegible]

過ルヲ不過宮ヲ二ヶ七吉里有公用ニ

ク往来ハ二ヶ七吉里乃林[illegible]

[illegible]ヲ商家ノ通ハ七ヶ里

元年考文の記ごとくなる みな八百五
十里とあり 一書に八千五百八十四里とも
あれども 今の俗家の
説なり 考文の説し 都
の道中 伊豆 あり 伊豆の里数 略記
を 伊豆記 に 西海道中 一里 あり
筆者 考 あれども 俗説なるべし
あり 六七人 とも 数に あらざる
説 なるべし 光 あり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

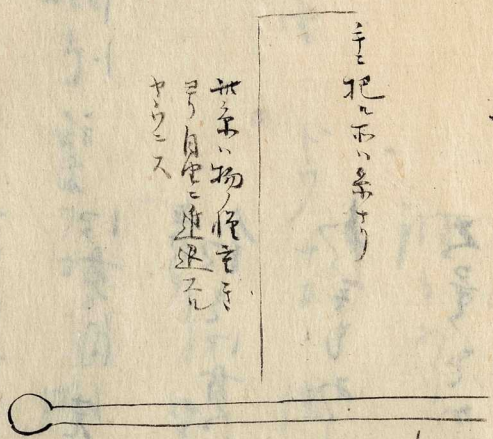
[illegible]

[illegible]

[illegible]

行量第十三

法馬 分銅ノこと



フレードを 多種六色の法馬を設き 百分を

しかるべきものをもつてこれを年貢
九十二人をもつてこれいつとす」となり
ブート 祈方 年貢目 考之 年貢米拾石
銭七貫目 加之 入用 之分下 酒
肴 加之 入用 之 仕様 有之
大豆 加之 相也
米十石 相見 之 雲相 美作目 賞之 事
孫兵衛 ゆく 年貢 賞 ゆく

樂器第十四

琴 ゴウシテ 絲ハ絹のちくるを用ひ琴も

用もわり 程張なり

笛 ドウナカ 往笛なり

なりなり 中金ちく吹笛も有 唐ハ竹笛

胡弓 ケレフコ 胡のかどなりの仮金属のもの

はきかけちくなり 竹ちん

三弦 バライカ

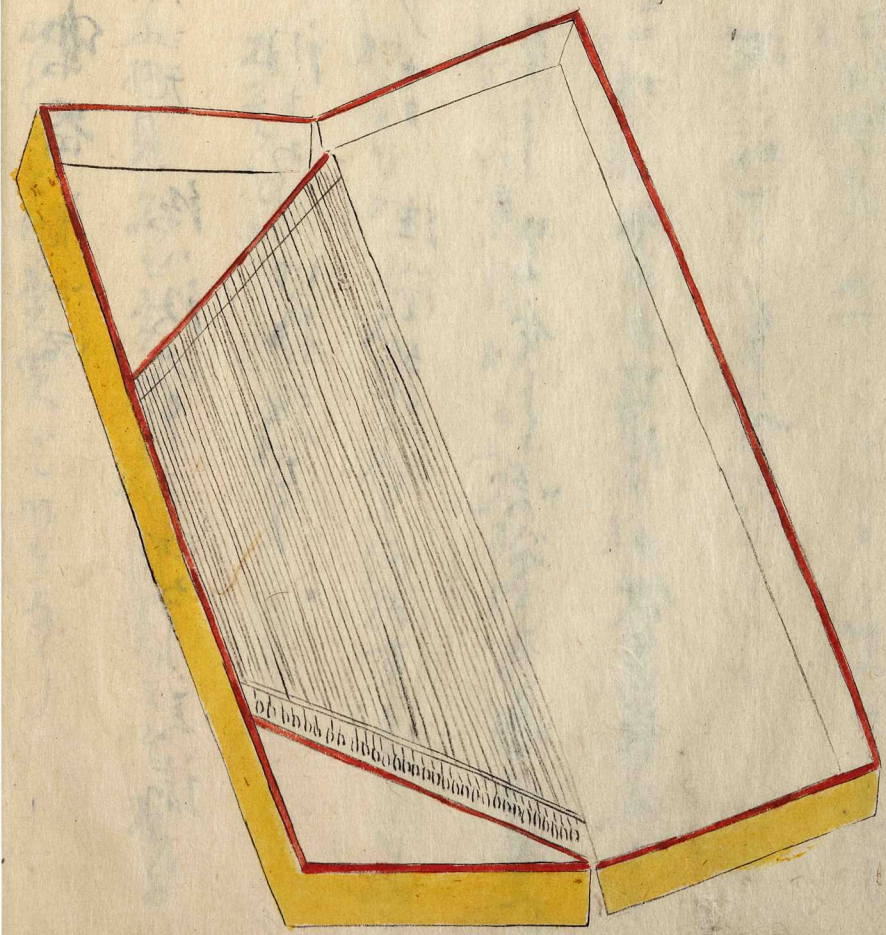
コーシテ

蓋ハ横ニ[illegible]

[illegible]乃ち[illegible]書の

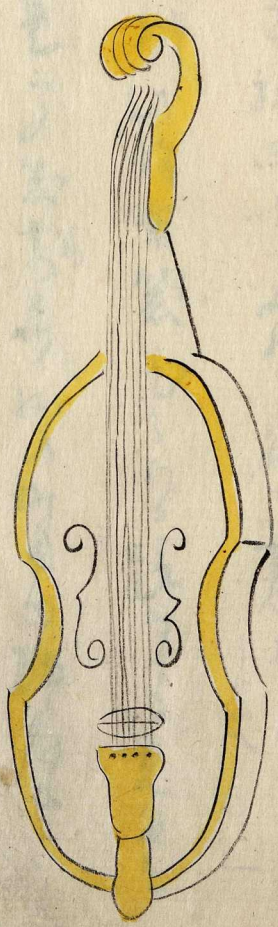
書ヨ曲調の

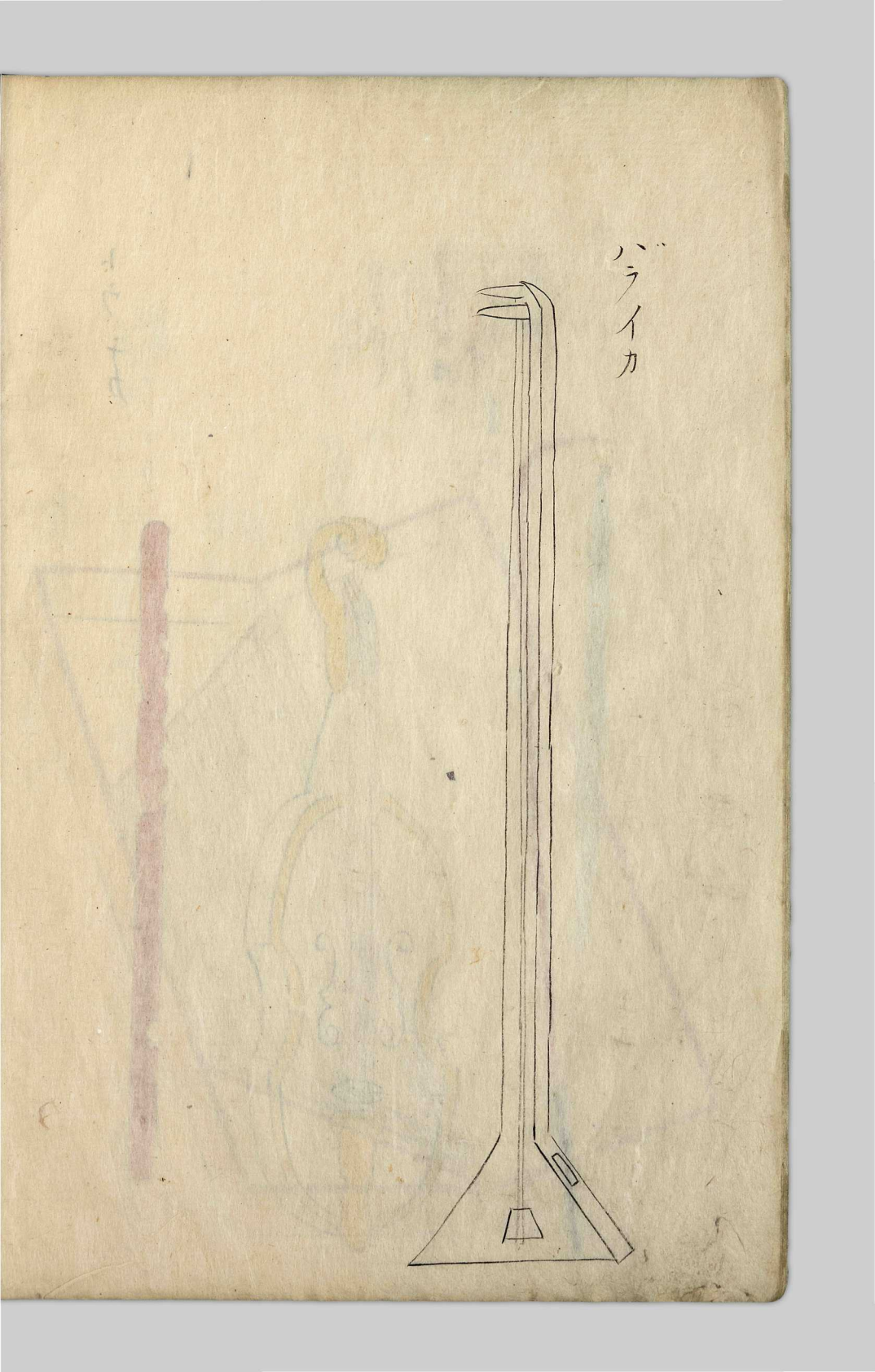
[illegible]



ケレブコ

トウチカ




バライカ

太鼓

バラバン

又世ケ山人ゟ聞て云ク家ニ安キ所ノ
方旋回ハ[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]
トロムベット」
[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]
[illegible]ノ

元禄年十又

[illegible]

[illegible]

[illegible]

文芳第十七

諸篇の数しるし略記するものなり其所不分
て商法を要事の事は詳細なるものを略す

醫療第十八

内科をドクトル（医師）と称し外科をシルルギヤン（外科）と称する
ものは共に一年夜学を修しその医師業
を許諾し一位を授ける称号を一位医士
産婦中第五見業第六を修学終了する

き病人に薬を服せ病人に時病者の病
を知らしむる薬を要すべし大熱ありて大便秘結せ
ざる時門弟永院を来りて注射を施す
面白き事なり此時に病人に病みたるを
を脱薬したるを醫家も驚き見たり事を
なす薬自の吹き物の抽出物を用ひフラスコ
大の分量を取りあるを見たり大学の吹管なり
病人を活き門弟達を「十二月」

[illegible]見行[illegible]共の他家[illegible]も醫療の事見
[illegible]
[illegible]病あるゝ毒[illegible]
[illegible]
[illegible]雜事の篇ゟ
[illegible]一年[illegible]疫病の流行せし
事あり[illegible]

物産第十九

商物

アレバ　擬　ケツタ　鰐　ゴロホーシヤ

鱈（乾ものうし）ヲ　北国ニ　ハトス　鱈　ムトウ

ハイ

右　清水ヲ　ヨクヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

章魚　アシ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

イルコー　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

奥　額　後　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

オテテ　鰊　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

オレヤテン　ナメリ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ　ヲ

又ときどきのめき物なく大変之極悪
貢をうしなひ[illegible]を[illegible]貢を[illegible]
[illegible]年[illegible]ばかり[illegible]
[illegible]貢[illegible]の変と[illegible]
[illegible]の[illegible]
いろいろあくまの[illegible]乃棘刺(いば)と生を恐(アヤマト)
と親(ヲヤ)[illegible]の[illegible]全く[illegible]
内皮[illegible]の方に毫毛表に[illegible]
[illegible]味[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二て 汎鎖の めすみ〻 [illegible]

[illegible] 大夏のすみ〻 二貫目程あり

かうし 鮒 [illegible]

蛇 モーハ

蚊 カヒル

風 カヒ ゑえモイ

蚤 ツーカ ゑえかヒ

蟻

蚯蚓

蜘蛛

蜂

蛇 レニヤ　蝶 ツスイカ

鳥 ビツチイツ　鴉 カンチヤウ　雀

鶏 雁 ハイトガ 雉 コーシウ　凡テ雄鳥ヲハイトウカ」ト云フ

卵 ヤエツシ

燕 ツハタ

鳳 ターレ ニーレ　元月のるあり　ゆるはく行月と云

平とこそ人家ゑ富ひまて繁家あり

唐橋ゑく人家軒と云　祭の移る祥云

鷲 オトヽヱカ オワトヲカ 高い所に食料をもつて

雑 ゴロツイ たゞ乃めし雑ぜ」と云

鳩 ゴロフ 食料をもつて

からすんる インテイ ヲ コーカ スインカイカ

いるいのをうり 高き所に 高き人の

食料をも 中を 世の人を 孔等の

をもく 高き所の時のをふケセラ」 ふるい 迷

十も高ふく有乃 ヒヤイ ヲ 印ば雑

コーしかしい

の事なり　和漢ともカラクーニセヽユーケルトスル

カラクーニヽ印度の一地名のよう　ユーケルいうな

なり　和名抄ニ　カラクニヽ　とあるは誤

なり　漢名印度雑考ニ

鷹

鷹家ノ名高美　尾の長き鳥　名高

鷹　見ケ　なるの　あ　高

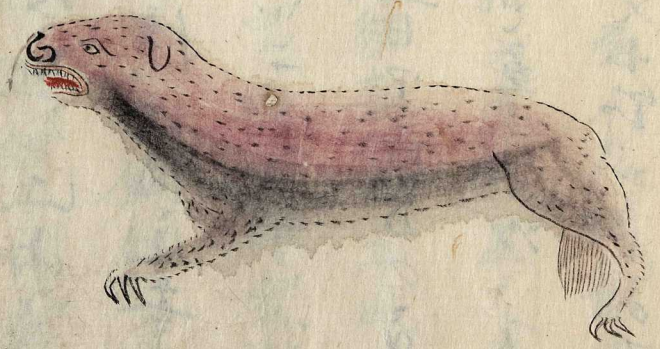
高鳥と見る　高とは　高鳥

と和七年　前の

一ハ山物止白星の名産と呼ぶ中の衣と
姫と呼ぶ物なり 弾ずゲカル 瀬の色ふく
ふ蓑を物初く 高麗 トレコスコ ふく 村
ふ蓑を貢上る
此之の夫人アンカリ字と云ふ 高の三郎を匹偶夏
百姓使役奉仕 俗邦 四角張て云ふ
ヲ猫ふ云ふ 云ふ物ふ云ふ 小さい 情も
尤長ふ 毛細を長く 黒毛ふく 赤し
を手い ふく 茶ふふく らつこの如し
腰の辺 赤毛なり 高く 伸ふ 沼沢あ
三月ヒツメ

黒面仰猶の如く黒色器等猶の服のび
乃ち如し　中等以上の人の衣服を用ひ
上段と隆合をなす相重枝條等繁
茂せる蹟を黒色
なり
布相隆まる布の形如のごとく新の黒色
仰芝色を帯す彼亦長略託る布と云
芝西を加の倍く所う長因如と乃すす
乃のこ

ソーボリ 貂 鼠



物ゝいーぼり」、新羅にて漢土に渡る道の
定りなり　後書に見たる如く渡海
京まで事こと新羅小島　渡海猶尾崎の渡
も有なり　和名抄に「毛之ナトヘ」と云渡歟
漢に因て又地題に此日里地方の事に
載る書中に市井細工多し　次に天王岡
物に載る所に「又小野茶山の西流に
陸奥参考の一とし

天工開物貂產遼東外徼建州地及朝
鮮国其鼠好食松子夷人夜伺樹下屏
息悄聲而射取之一貂之皮不盈尺積六
十餘貂僅成一裘服貂裘者立風雪中
吏暖千言丁時入日中拭之即出所以
貴也色有三種一白者白銀貂一純黑
一黯黃色而毛長者近值一帽套已
五十金

貂鼠事物異名蒙古呼曰不魯還朝鮮トフヒ朝鮮賦微

其裘舶来ヨリ裏而見レハ至少皮ニテモ絶

合ニ製ス毛至軟メ白色コレハ銀貂ナリ常貂

皮ヲ帽縁ニ造リ名モノ舶来ノ裘帽風領コレ

ナリ帽縁及裘領用ヒハ寒風ヲ防クトヱ

貓コー方尾長短二種アリ蒙古の産ナリ

猫の来ルヲ見レハ云フ〻〻〻

鼠 スイシ

犬 ハカ 日本の物きあり又耳長面の長
きもあり又下後れさがりて大なるあり

豚 ヒヒヤ 毛黑赤白又斑毛も有るあり
の形の
和人皆異九と云て高ふく合科と異九
と云て養ふものゝ肉肥て味も美なり

牛 コウ 牡ベイコウ 肥 毛色は種々あり 山和ら異の
合科と云て

馬

コー　牡コーユ　肥カホク　と云日本にて多くは馬又馬の外
名畢竟と云　ここにまぬかれ遠道
をかけても馬印を人に見せ出さとかう
ぬをよすと云仮名　雑家中の人間世中家風
場所を先流る場所者　悪国所家生業
義剛者　乾を用の仮名を　ニ　まくの
家生は主人所の人の子を　流る流合
を心ふ川に川に流る　迷う

羊 ぎう 毛色黑白又雜もあり 毛長
と雨とにかゝせゝ 御の物 毛長 羅
御類の毛織と御こ又 毛長 九もさみて
雨雪とも 毛長の價 高 毛長

御羊 七十三 毛長 毛長 雨雪 毛長 毛長
毛長 毛長 毛長 毛長 毛長 毛長 毛長
毛長 毛長 毛長 毛長 毛長 毛長 毛長
毛長 毛長 毛長 毛長 毛長

[illegible]

野牛　コレモ牛ヨリ仔ヲウミ仔牛ハ他ノ皮ヨリハ多ク
良好ナリ　[illegible]皮ノ類ニナル

木綿　ビロード

兎　オニヨン　皮ハ衣服ニモ用ヒル時ハ[illegible]
和蘭西亜人ハ合羽ニ[illegible]
ノ皮海ノ[illegible]ハ合羽兎ト猫皮ノ如ク
[illegible]ハ　ビラトッテハ合羽ニモ[illegible]

鹿　オレこ　はと　刺き　角も　草とも　はるトコロ　い馬

の如く　はひたるを　はしく　年　行くに　入れ

けとるく　年　れの如く　角も　毛も　えくの

雑部　毛　角　鹿　はらるはとも　見たり

鹿　一種　別　鹿　オレこ　ふいの地方　ふれ　少けり

大先　日　方の如き　角　はる方　ふ　角　ひらの如く

オレこ　ふれ　日　方の角　と　はひ　角の　丈　ふ　毛　長く

はる　一　ふ　角　中　本の如　四　庫　角の如く　丈　年　図　はる

大如　八　年　ワ

野猫　ノネコ　大先　ふ　毛　と　れ　ふ　食　料　と　ふ

猿　サルガ　鹿　長　猿　ふ　猿　カル　と　見　ふ　ふ

熊 ヒグマ　毛色黑又淺赤

尾 チース

海獺 ラッコ　オスト巳の海中多く

海驢 アシカ

猩虎 オランウータン

駝 名未詳　頂の形ち駱駝に似て毛色赤く尻広かりし

大元ヘルカウ　大元イルコーカの沒所の定説を聞くと見たり

駝 駱駝

象 スロン　ヘトルフルカ　印度の所領の内より

[illegible]

年中ニ見タル所ニ於ル家ニ子ヲ八
人産ミ仲ハ女子ニ六人ハ男子ニ
成シ伊ハ[illegible]ニ[illegible]ハ
御ヲ以ノ[illegible]ニ[illegible]ル
ノ[illegible]ハ産ミ[illegible]ル

鬼

[illegible]ウ山ニ[illegible]ル[illegible]ノ[illegible]国ニ[illegible]
[illegible]ハ帆ノ[illegible]形ヲ[illegible]ケイス島ノ人ニ
[illegible]ニ[illegible]ル[illegible]鬼人ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

レイレこと篇七段の仰せ相違無之候
為前ノ段ノ詞ニ極めとげ
ノ段移ることの如くなり
テトロテイ　ヒゲもの如き段なり実多く所なきが
一種の段なり能之を正す是実に陥るも
実用なるなり
大素擽　ナブ本の如しいまだ知らざるの段の如
之のひとつ又ふたつとして和歌あり　和歌あり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

橋ハ貴殿ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

長さ二尺の工作物と見たり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大麥 アラメン　麥粉 ハタモ

稗麦 アワロケ　蕎餅 ムギガキ　ケレフ

常食ト ナル

小麥 セミイシノ

蕎麥 ライジカ

ヱ ライバ

蕎麥 ケレショウシノ　撰別 ムシ　實 ムシ

道中 用ト ナル　モ　ヱ　ヘ　ヨキ　ヒ　ト　ル

他の麻類よりは價値相劣れども

拔剝 コロバ 形ムツカ 根 コレラ 莖 シケナ

麻仁 ヒノビロ セイミヨー

セーミヨー」は麻種のみを人丸の種

とよみもセーミヨー」とよん 俗には男女人

のたねとよみ又ヒノビロセーミヨー」と

又麻黍は一種の黍なり 詳なる

黍深白なるものなり

芥子　ゴロセウサ

葱　ロウコ

大ノ根　ウスノーコ

年頭　初年雑煮　白初年　天下の形と

名付たるものと思ふもしれもたし

等もあり元旦之内先之合雑こんたて

凡年頭之儀　七月頃迄　孫ゝ合ふ右極

陰陽ゝ用ゆ　用ゆ細ゝ別ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乾隆帝の筆なる偽文彩色印刷物の
ゆくかを各篇に表す

西洋 アルボース

新 タン 南アメリカ産の一種の
番椒 ペイツ 唐山との交易ある事なり
乾隆帝の第八子なる嘉慶の立法
字形の帰帆の前「南アメリカ」のエカラ
リさ」なる「ハ」なるものの

ひるのとをたて

胡椒 コロ多ノ国ベーレッス
ナスタラロしふ ピペベーレッ 此邦ニ多シ

數量表 二十

一 オセン　二 ドウ　三 アシ　四 テヤナイシ

五 ビヤアシ　六 セイシ　七 セイム　八 オラセム

九 セイウエテ　十 セイセウ

十一 オゼンナツサイ　十二 ドーウエナツサイ

十三 テンナツサイ　十四 テヤシアツサイ

十五 ヒヤラサツサイ　十六 センナツサイ

十七 セムナツサイ　十八 オセムナツサイ

十九 ゼウアナツサイ

廿一 ドウ サイオゼン

三十 ケレツサイ

卅十 ベリンシヤツ

四十 センテンシヤウ

五十 セウアスト

千 テイセツサ

二萬 ドツツサ テイセツサ

二十 ホツタナツサイ

四十 ハーロケ

六十 セツレダツ

八十 オヽロムテンシヤウ

百 スト

万 セイセツ テイセツス

古伝風雅集

一婦人あり乳と家部ぢを幸ふ芝と隙を乞ふ
[illegible]
[illegible]婦とらしても見交はるべし累通仏
仮トコロフ」の家あり[illegible]門喜寿の[illegible]
くえしみ[illegible]婦見[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

天文二年二月廿五日ゆく末を思ひ
見風俗を聞き志あり
をとこ女の別なく
をとこ女の別をおろすと
なり
二月廿七日に
ゆく末を祈るとて
こもり
堂
十七八人
堂
遠ふく
日数を
祈る
彼ある人の夢
天にはしるなれども
中ゆく
蔵
百姓
人
六十以上の人を

老人の姿にして五十年の人と老えるとはい
えども四年齢を経て白髪となりて老い
たるかしこの婦の人の妻女にて年五
の常の見えしにて
七十八十年とふ人侍の所に記行を右近
と見て五十年とは男は童髪にも侍らん
年を経て遠き所にも行とは此人化を
の貴れ仕業にて侍ることなりと

きうず

[illegible]年かきはいを[illegible]

[illegible]

男女交合の事過度いとうを[illegible]

すゑ遠く[illegible]

[illegible]

コウベ[illegible]

[illegible]

[illegible]

彼七人の行ふ所西洞院を面と為て来り
以元板の表を写かの面了のみを中る
それらのものこと及ぶ一切無もなく
ものを問ふ時に協中を調達
て彼其形を通ずるに自幸なるを
ふこから居るなり 彼今あるも時の
板を書生の表を牙籤を運動する
ものを本人相も表あるなり

ニテ五巡行間先ヲ子第ニ通河
の事先ヲ第人百ヲ為ヲ為ル
中等ニ以上の婦人方ヲ為ル為ル為れ
ヲ為ル為ル男ヲ為ケれ本国ヲ為ル為て
多ク利益ヲ為ル ヲ為ル ヘ行ヲ加賀ヲ
ヲ男兄あれ後家ヲ為ル其兄ヲ見ル家相
続ヲ為ル 凡ッ世婚国ヲ為ル 祝儀ヲ為ル 二十
第ニ女ヲ為ル 下孫ヲ為ル 娘ヲ為ル 事 セイ 巡ヲ為ル

わけ髪なりしかを老婆とかりてもを農人ごゝ
ゆゑとはるゝ女の身持なりを者者く流行あるゝ
みを怪和の怪をく怪存人の娘なりを和なる山奥なりを和
業ある者あり老い人を取るゝを世界を年を
重ねるも生涯ゞイワの姿なりてわけ髪なるく形
なり石の姿の女人を人も見を化を者和なるを
後死の彩化り貞実なく死を者い伊尊尊と今
業なる家なりを体を者なりし其尾を平を教を

市中之年寄ニ[illegible]
年の門番いたすものを始ニ一軒通筋中
門ニ一ツ宛之見付
大富貴[illegible]と家業柔高向きの番頭
ニ一ツ一軒ツヽ一軒ニ一人ツヽ
永持放埒の不業をあらし見セウカヘ
等用ひ[illegible]家ヲ傾ケ[illegible]
乞食ニ大ハ[illegible]年寄之富家

の皆あれい用るの石法蓮しるとゆへ
病死ることもしく 疑きうく いろく
の他も金法方のゆやとくう
婚家い男女差殺とーるこく後するいあるに家い
ゑもくあり 古寺のくい所と居ることを楽しとす
の後ろく婚家い金石石塔蓮 後あり 丸んをかン
さとう焼物とうるの物といトロブコーを限る送りる
い見せり石いるのくくを当るいあるに位海

上海世ゝの人ゝ多くは流行する所の二方 [illegible] 服 [illegible] 病とする

病を治すると云ふ病を除くためのものとして止白星地方の

後藤ヤーラダクーリ云ふ人ゝ多くこれを好み飲す

[illegible]

[illegible] 何にも [illegible] 好き者人ゝ [illegible]

の事なるべしと思ひ海ゝ [illegible] 制に従ふ

[illegible] 地の人ゝ [illegible]

[illegible] 或いはしーと云て [illegible] 遊けいをひない

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まあるくふくらかな顔付きの人物を
ヤーおんきムツカとよぶ
ヤーおんきムツカ（アリカ）
ヤーおんきムツカ」の事
素晴の経
仏上
人色かくてこれなり

白髪人と称する白髪と
白髪ちらちらまく少年色彩
ちかめ（クサメ）
ちっ嚏
あれい色と少人（ダラスケ）

[illegible]

[illegible]

[illegible]

環海異聞巻之八

言語第二十一

天文

天

ていーぼー

ていーぼーなる事ん上の尊神[illegible]の天を

ていーぼーなるを ていぼーホートゥ 地いどむう

なるを ていどむう ちいオストロるを ていオス

トロ〻〻漂雲等和名抄ニ雲行ノ流ハヘア
ツカ」ナレトモ今アツカヲ称ヲ入形ヲ

日 ソンザ
月 メイセツ
星 スウイウタ
雲 オホロカ
風 カセタ
雨 ドーシ
雪 スナイカ
雷 コロシ
氷 ツヨー
天晴 ホロシヨセシ
天陰 ホロシヨシヨシ
霹靂 トーシイシヨウ
雨降 ドーシナイシ
電 ホーカコシ
日出 ソンザイシヨウ
日入 ソンザヅカクヨ
北極 ミイ立シスウイウタ
寒〻 ホーロウノ

暖 ケダロイ 暑 ジヤリュー 濡タ モフロ

燥 いハヤ 火 オコシ 焚カ オコシトビイ

大焚 オコシテービイ けむい デムナ 烟 デム

烟カ ネムル デム 多ロ イショウ 赤道 エクワトル 天度 ガラト

倦怠い ケケ ネムい セイムラザガラトこと

物こ和ネ ネ ふガラードトふラ

地理

地 又土 ジムラ サジムラ

又國の事ともいふ 日本國 支那 ナラ 加地 蘭國 ケクイツ

ニツホンジムラ

國 ムラ カラムツケムラ

都會 街衢 ゴーロト

凡ツ政府を為て所ある街のもかくを

ゴーロトイルコーツカも ゴーロートいふベトルブル

カを ホロシヨゴーロト ケラ 狩ケラ ホロシヨ

を如字 英字

山 ヤマ　林 ヤマカ 山下同シ　砂 ビフヤカ

石 カヤ カシ　園 オヽニワ　橋 モース

橋ハ土橋 石橋 共ニアリ 何モ略シ用ル

五十間 程有 何モ略ス

墓 ヲコヲ　井 ミヽセヲ　河 ライカカ アイシカ

海 モーツヨ　潮 アナツーリ　海水 モーツヤテイ

波 エロシ　巷 ガツ ナ元 ガラシ　嶋 オスーロ

火山　ヒヤツツア　スホヤクモ

陶

東　スイ〜ダアウ

西　ザノバリノ

木　ゼリツ

金　ハーロトー

鐵　イシツノ

燈石　ケレメン

壁　ハーコ

穴　デラロ

イルニーツカニ玉風ジ　ニシーストル

南　ユーシカ

火　オロニ

氷（水）　ウニノテイ　ボイ

銅　メイヅケ

塩　ハリ

外国　エノスタラ

戯場　カメシ

北　セイウエシ

土　上ニ出ツ

大光銀　セレブロ

硫黄　シイラ

白石　肥後白嶋産ニアリ　白瑪瑙屬

ムラ〜

イッウエー スカ　石灰　手別ニ記ス

モイラ　石膏　手別記ス

諸国地名本国通稱

ケタイ　ツケ　スキタイ　ツケ

按ニ魯西亞人又那ヲ呼ンテケタイツケ又
キタイスコイトフトスコイヲ国ヲモ列
那ヲモ云事ヤ彼人伝ヘの名ニ付テ
スコイトヽ称ヲモの多シ和蘭訳書地
略記譯説曰又那の事ヲキタイ又カタイ
ヲモ云ヒ又ヲ韃靼の内の一部ヲ又

一書に支那の地名に一部を北にあるものをペキン（北京）サントン（山東）サンシー（山西）センシー（陝西）ホーナン（河南）スーセン（四川）九つに分ち南方をコンドンと称し他の諸部を総ち

三ヒンドンといい野蛮の人を呼ぶ北人は南人を海賊なる故にいつりそ武いこンドンハ

唐人と呼ぶ事なり

ハキタイ又カタイハ漢土諸書に見る所の

琴舟ハ[illegible]キタイの音律家にて琴舟ハ
元代に家世中葉迄ありの地及び恵
宗三河の地とかつて国師と又大達とも
号し山東陝西河南等の地をいまく
領せり知るべし金元の二代隆盛
金ハ世宗元ハ世祖達の時に十五年にして上乃
六郎の地とありて山はあらく
南朝と海内を奪人ともいふべし

右の如く金元の二代遼を滅ぼすに
北韃靼と支那の事を考へ契丹を
又称して[illegible]カイと云ひ[illegible]
亜人韃靼と云ふも[illegible]
他国に其キタイの称呼を以て支那全
国を指してキタイスコーと唱称する
事を思ひ契丹の地実を中西東
韃の内外に直ちに西のあたる

国云唐西亜の所の俗西洋天竺地方
と称して 改称已降西洋と称す漢
土の西洋と云ヒ 又邪蘇と称す 云和蘭
黄茶 茶の始皇の時 土蕃の茶の字の黄色
俗にてかく称し 来れりと ロイ人と云ふ
又人の説 中古より乾隆 和蘭に称
見聞せり 世に茶黄 和の世の名なし
ゆへに称せる名なり と思ひ 茶

以西域と称す又西域印度をも
シナと称する由なり又那須震
旦等の音韻字なり国々頗る名
くいわゆる印度地方をシナ地名を使へ
先づ西地方を及ぼし後に彼地方を
東漢方国等に定め称す事
なり先祖祭祀彼度の代々
天竺に渡来なり遣唐使なり

宜しきも有り 拝聖[illegible]

来元明今の清朝も唐土に

唐と称し類[illegible]

カラシツケ スカラシヤ

スウエトツケ

ハラシツースケ

アンゲリ

ホルトガリ

阿蘭陀 オランダ カラシツ

スウエツテ

要陸亜

仏蘭西 フランス

アンゲリア

英吉利亜

波尔杜尼爾 ポルトガル

ゐイスツ

イスバン

トルカ

タルタ

ヘイヒンツケ

モンカリ

トボリツカ

ヤナスダ

ゼルコニア 入余瑪尼亜

イスハニア 伊新把伊亜

トルカツ 都兒格

タルタ 韃靼

ヘキン 北京

モンタ 蒙古

イルコーツカヨリ 彼方数ヨリ三十里北ニ有るの地

新疆、山人の大漠、大元日本ランズタシ有る

ダンツケ　　美那瑪市加

イイゴーランゼ　　新祝蘭

ドーブラヤデシタ　　喜望峯

ドーブラホロヒョとは一名ケ所にて始めてドーブラハ
祝ふべきの意和蘭にハアツケヅイデボーブと曰ふ洋語なり此所

アンガクツケ　　バイカル湖畔の地

ウエリホノウミニツケ　　バイカル湖の岸なるアル地

ヤツボ　エツボ　ニツホン　　日本

イルデイツケ　　應帝亜

オロレイア　魯西亜

ザーモーリヨ　スバイカモーリヨ

ムスクワ　莫斯(モスコヒア)筒来亜

ペトルブルカ　ヒゼルビユルカ　ヒートルベルダ

オンテレイツケ　潘名は当の名

老を又曰カミシヤーワの水あり海とアレ

デレイスカとも

チヨリノイ　モーリヨ　黒海

春 ウイスノ　夏 ライタ　秋 オーセン

冬 ジー

十二月ノ名

正月 イスクリ エノウル　一ヶ月三十日　三十一日あるとゝ

二月 ヘブロリ ベブラリ　一ヶ月二八日ノ月ハ二九日ある時ハ

三月 ミルタ　四月 アブライリ　五月 ミイ

六月 イロヨシ イヨノ　七月 イヨリ　八月 アラコシ

九月 ゼンテヤブシ　十月 オキテヤシ　十一月 ノヤブシ

三月 ニガツシ

月ノ満ちかけは三十日と限れるなり

あり一年は三百六十五日なり

めぐりて元月の元日となるべし

七年目にあたりて閏月を多くおく

方の三月まあたる文化元年甲子三月

十日ロシヤ藩宿中アロシヤのイスハリヒ

月ノ満ちかけ潮流の年の歴コヨミ人も不待

中ごろも其後いこもなきれい初めて
和ゝう 作ゝう 唐日を定め三日月十四夜
なとゝて たゝ心光ゝして 武ゝう 甲子
の年九月七日ゝ ゝゝ長崎のほとりゝ
六〇ゝゝゝゝゝ十二ゝ年の月一日の ゝゝ
ゝゝて 唐い彼四家を 西ゝ 積文家を四ゝ 年家を
ゝゝて へゝゝ年ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
移て 元年ゝの心ゝや 文化甲子
二月ゝし 世ゝ ゝい彼唐 ゝ十八ゝ ゝ年
佐ゝ羅甸 十二ゝ月の名 閏 十二ゝ月

二月 ニウナ　三月 ニイウス　四月 ユリウス

五月 セツテムベル　六月 イベムベル　七月 ヘツリアリウス

八月 アツフラル　九月 イニウス　十月 オウクアリエス

十一月 オクトベル　十二月 テイセムベル　いにしへ

はたらきの　はつ　其毎月の名称気

五倫なるものの有りしかども　いと後とい其月

毎月ひとつ長くて今世のこと也　推しまて

武士源人名の名を改むるとて他りの者より伝

人倫

寛觀 孫子多い 和俗の教と

人 ヒトヨロウ ヒイカ

君 クンシヤイチ

母 ハハ 大元 ハハヒカ

父親 オヒツ 大元 オヒイツ オトツ

祖父 ジヤジヒカ

弟 ヒライ 大元 ヒーリヒ ツラーテ

娘 トテテ家の母と子と他の娘と子叫ヒイフカトヒ

男 ムセキ 大元 ムヒカ

女 エンシナ 大元 セヒヒカ

僕 オロホヒ ヒカ

父 ハテヒカ 大元 ハテコヒカ

兄 ヒ 大元 ヒ

母親 ハハ ハナ

祖母 バブルカ

尼 ツラジツ 大元 大 チリヒイ フラーテ

妹 セムトフナ

姉 セムトラ

伯父 シヤシヨ シカ　伯母 シヨテトシカ　妻 ヤエナ エナ

人の妻をゝかぬ時いうこヤイツとゝかぬ男の内をゝかぬ

夫 ムウシ　姪 ヲイ 女姪 オヒヤ　文化ノ和歌とも

孕婦 ヘヒヨウタ　産婦 オロゼル　老 スタラナラウエトカ

少 モイ ナヨヒウ エーカ　愚 ドラアカ　隠明 オシノエ

朋友 クツラシ　帝 イベトリ后 イムベシテ」ツザイ

王 ゴウ タリ　天ハ帝ヲモ王ヲモ考ヘ 多祇ヘ〳〵 ゴウ達トゆ

諸侯 コロリ　奉行 エナラウ　書役頭 シキリタリ

通事 ヘヒテツキ　医 ドクトル　兵士 ヘイシカ

寡 ナシメ　ニヨストイ　富 ハカトヨ　貪 ベヨワケ

善人 エロシヨ チヨウエイカ　悪人 ボタヤ チヨウエーカ

娼 ホロクスツゼエフカ　蝦夷人 モクナウ

又ホロクヒケ チヨウエイカ

女色の生たる人と云ふ

飛脚 コシヤロ

仕立屋 ボロハノヨ　煆冶 ヨシナイシ　多門師匠 オモイシ

手習子 オヲーシカ

商人 コベイツ　大工 ホロリシカ　石匠 カトクシキ

馬士 コシセキ 大先ヒシキ

師 カシイテシ

歩卒 サウタ

美男 サラレイツ

病人 ホリノ 大先ホリノ

聾 ゴロホイ

舶師 かへクン

商船 モリーヨモノ 舟子

町人 メシシシ

使節 ホスラシカ

美女 トラサイハザ

乞児 モノモライ

跛 ホロモイ

水主 ニトロス

宦船 舟支 ストロコン

酒風漢 ヒヤシザ

大和尚 ヤシヘライ

眼鼻髪のすつぴぬ男子 テリテヅラ

青 スロボーイ

唐人 ホーいり

身體

頭 コノワ　眼 ガザノ　耳 オンホー

口 ゴーハ　鼻 イース　髪 オーロ

胸 ドシヤ　腹 ベシホ　手 オルカ オロケ オロテケ

足 イーケ　皮 コーシヤ　肩 コーシデ

面 シワナ　脊 ダーハ　歯 ーベイ

尻 ノーハ　舌 エソー　乳 デーテカ

乳汁 モコロ　腰 シベテ　腎 ボイヅー

陰茎 ヨイ

陰門 ヘッタ

精 ビュースト

鬚 ホルタ

血 ニロツ

小便 シキーシ

洟涕 ノヒアーカ

毛 セイシツ

陰囊 イーゼイ

陰水 シイバシ

肉 ノヤス

所 セノドツ

大便 サラジ

放屁 ベリトケ

毛 ベリカ

兒女 ニンカ

膝 オクチナ

脳 ケンケイ

骨 セノドツ

糞汗 スボゼル

屁 ヒョリーナ

毛 セイシツ

居處宮室

家 ドーム　坐敷 アーンス　閨房 コロタン所床

庭樹 ジモ[illegible]ア　戸 シュウエル　窓戸 スタリシ

窓障子 オユシア　硝子障子 スチクロオエシア　柱 ストバ

壁 ステテ　砌 ナツキクカシ　階 リーモザ

烟窓 ケムリタシ　トロバ　邏杵 カラタリ　垣 ザブロトト

獄屋 オレストロカ　倉廩 アンバル　浴堂 ハンキバニヤ

門 オロク　席 ボスライ　急市 アシバノオリヤー

酒屋 サハカ　民家 レンアン　寺 ゼンニフ　大光 サツリヨ

尼寺 ニノスンテライ

器敗

箒 フニカ　真 ホーニカ　火炮 テツホウ　オレヒキヤ

腰カ ニツバアカ　鉞 ビツボーロ　鋸 ビラー

鞭カ イレンザ　剃カ ベンツフ　鞍 セツロー

ヒツロトハ馬の背ヨリ人の乗る物を指す言葉の事ヨリ仮ル又
ゼリツテカと言ハ背と背ヨリ背ヨリ背と仕掛ケ物ヨリ

帆 バロス　檣 ミジタ　舵 ロウー

碇 ヤーコシ　綱 カナトス　高船 アツサトツ子

官船 ナデシタ　軍艦 カラブシ　脚船 ホヤ

大と名づけたるとは碇綱但とつむ中とヒロブカ

とは陸に人あつく時用ゐるものとなりとして三艘

あり其ほかは用ゐ　水車 カケ名ニ風扇 イーシザ

車 遠中用ゐるものハキヒツカ 中中用ゐるものハコイス　煙車 サシギ サシヒイ

字 ビシ　紙 ゼンブニカ　墨汁 サリノナ

圖 ヤリタ　印 ニツヒ　銀水器等トヲ作ル

書冊 キノーカ　笛 ドードキカ

琴ノ ヂーシケ四ツ　胡弓 ケシフニ　太鼓 ハラバシ

絲 ヲーツケ　綿 フニカ　蒲團 オジャラ

包袱 ボトーカ　帽笠 ジラツハ　三角帽 ミレオコロツ シラツバ

枕 ホトシカ　杖 バーブカ バウカ

椅子 ストリヤ　輕賤ノ人用 長キ腰掛 スカシヤー

机案 金盤 ストウ　箱 ヤーシキ　スントーカ 另物ヲ入ル箱類ノシリ類

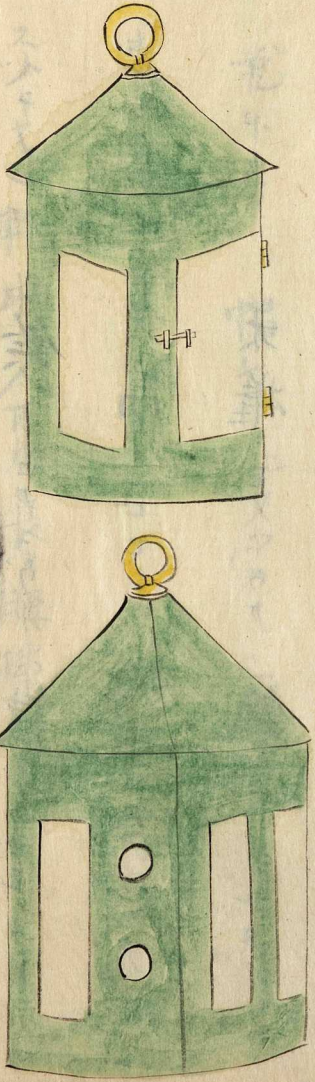
鏡 セリャラ
眼鏡 オッテケ
時計 テヤスウ
法馬 フントウ ベチメン
鈴 コカユウリ
鉄 ザモーア
鏈 ケルーケ
火筋 シビセイ
煙管 ヒロア オコニツ
碣 ボロス
木椎 モノトウカ
鍼 イニルカ
羅針 カムバス
瓶 物ノ煮ル コリヒウカ
茶碗 木椀 ヲヤーシカ
鉾 トリコシカ
ろつ板 リヨシカ
ゝゝ板 ヒロこ クドーツ
ゝふう ヒロこ スケウシヤ
鋸 トクリ トーフ
ろゝ河板 スクカン
桶 カットシカ
手桶 ウシエテ
硝子 スシノツロ

樽　ボーシカ　炉管　コシザ

鼻相金　ズビーリカ　きせるくち　コシ　傘

蝋燭　シウゼイ　不詳

燭臺　ボーシュウエシカ　提燈　テウシン　ハナし



ハナし　板作ると仕るものと毛布と張るものとの二種有

帛 ワイニイカ 樽 ゲレベレ 革袋 ソニ

書状を入れる コセリ 酒を入れる袋 紙葛 ビヨーカ ヒヨニーカ

綱 ヨラト 尾 京都を送葉らないキリベイシ 尾張と送るとゆふ元

丹 コロセツ コロリウ 壮 ヘイテ 大元ベイテ 銀鈔 ヲヒキテウヤイ 紙幣とセンウラ 大元

ヒイシケ 紙幣ハ今用る時茶のゆきわん盛も亦似る

コレトイケライテヒヤ 双方小馬ヨ百匹有文ヲ元ものゝ

骨牌 カルタ 平六段 アリ ハラウイカ 二段のあるゝ

メツタリ金ホウ銀ホウ田ホウ作ホウ五ホウ摸文
字帝國号等ハ刑ヲ犯シタル者ハ出ス可ト
又西光寺ニテ先年ヨリ殺ハ物ヲ其人ニ渡ス
勿論ノ所ヲ家戒ヨリ貴尾ニ改陣
ヲ行ハレ行ヲモ一切ト主ヲ為ノ為ニ襲ハ
ヲ行ハ法度自由ヲ定キ市況ノ時ハ
学問ヲ以テ仕事ハ能ク考ヲ為
ヲ為ス為ノ西山ハ物ヲ為ス元年 洋学ノ

先ヲ又モ段形の第五ニ行目ニ相当ス 注曰

西洋の人ニ先ヒ見ル所ノ品也 段ノ下ニ

形ヲ和名抄ニモ段ノ字ノ下ニ品多ク載セ

ラルノミ和名抄ニハモダアリトヲル

十五段盤 シヲ ナヤウ

[illegible]郡の国と[illegible]境の遠ひあり[illegible]

[illegible]たりへもちゐる[illegible]いまだ[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]あり

衣類御服飲食

衣類飲食の名色降る出るを多く

こゝに出さず

衣類 ブラーテ

帽子 カストカ

本帽 ダバ

羅脊類 ハイカ

悅中 ラシヒツガ かたぶきうち

赤類 ユヒカラ

絲帽 ケイツケ

羅帽 ツツノウ

池 オワカフ

絲帽 セウコ

絲帽 ククーカ

絲帽 セヒウエ 子ーエノ

羊ばうこの毛帽 まて御ゐるうち

羅帽さて似て毛帽こゝ和ばイカとも

唐人帽子の類なり いろあり

天鵞絨 ウエルウエット

紙張物 カラスナ ソライラ

八條 ナス

鞠 ツーロー

菓子

麥酒

上酒 アーツカ

砂糖

茶

惡條 ケレコツー ケレフ

支那惡條ニ似タリ如ケレフト云フ

甘酒 ユレシサキ ツカ

ブランデ 蒸れの終り

焼酒

烟草 タバコ

コーヒー 不實 豆ノ終ヒ

こべり 惡徳の意を含む布語之

牛酪 モロコシ

酪 イヽクツス

モロコシ丸ノ汁 ニスラ

乾魚 ヨーカラ

塩藏魚 アーリョウ アレバ

油揚魚

煮魚 ツクイノアレハ

新鮮 シウイシ

栗 名ナ元 イルコツカシ 行元の うき方のもの

初茸 のこ リクタラガ

朝飯 オビヤアノ

盡鋪 ハウシキ ヒルハン

暮食 オヽシーナイ

粥 カーシヤ

麦蕎麦米の 粉ヲ ヒルヲ

言詞

草 クサウ　木 ヒリツ　花 スウエトー方 ツウエトーカ

實 セーミュー　青 ゼノヨー　黄 エモン

赤 アカイ　白 ヒアライ　黑 ヨリ ヨリノイ

甘 スワッカ　酸 ケイスナ　辛 ゴリカ

苦 ゴリカ ニガトロシ　鹹 コーリョーノ　有 ゴリカ鹹ひ〳〵ゴリカ ゴリカ「ゴリョーリョノ」と云

魚子 ゴ　九 ライ　右 ゴフ

始 サテナウ
終 シヤバーイレヤ
長 ドーウナ
短 コロツコ
廣 シーロコ
狹 オンスコ
前 ヘリヨート
後 トナデイ
内 イツバ
外 ナトツリ
上 ウエリホ
下 ミースノ
遠 タリヨーコ
近 ヘシツコ
深 ゴルボーカ
浅 ショーコ
剛 ツウエルト
柔 ヤトコ
見 スモノレル
固 ツナレウ
早 スコロ
遲 ドノケ
多 モノラロ
少 エモノラロ

強

輕 チヨウロウ

難 ムツカシノワ

綾 アヤトノカ

奥 オクガイ

死 ボーメル

偽 ニセブク

方 カタヤテレ、オヽコロ

弱 ヨワケレフ

厚 トメトイ

易 ヤスシノウ ヤスワ

銃 オヽストロ

香

生

虚偽 ウリヨーシ

三角 ミレオヽゴロ

重 チヨウロウ

薄 トーヒニユ

緊 トーカ

鈍 ヨワヽストロ

真 ブラテク

圓 コニゴロ

好 オコシヨ

惡　美麗　汚

滑澤　糙涩　泣

笑　肥　瘦

大　小　高

低　勝　負

知　不知　正直

宿　宸　不忘

不直　忘

客 コヽデ 客来乃ちと云ふ事ゴデアリシヒ

主人 コレヤイナ

諾 ヤズ

不 イナダ

汝 テデハム

向方 ムッテ

我 ミヽヤウ

初ヤ 乃ちこの事ーて云ふ

誰 クトウ

尊君 ウエ

曾姻 スッテバ

貸 サイイー

借 サイメ

欲 ホーユー

不欲 ヲホラコー

行 クトハイ

待テ ボコセイ

書ク レッシウ

讀 セクセ

高正 ドーヒノ

下直 シヨウシウ 價とまけること又はオスヒイとも

又 まけられぬ又はオムトヒイとも

買 コビユウ

賞 ホタリル

與ル ホタリー

吝嗇 スボイ

往来 ユデ〜

色々 アラツケ

諸々 ヒラヒイ

忌 ニクウビ

力強キ シルモノーコ

叱ル ハツコウ

宗旨 ホツコシ

恥カシイ ステツリ

驚 スボガル

踊 ビツナツ

又 オツビヤーニ

作 オレゼル オンヒルいせ[illegible]又はのまもなるとも

種ヘル サゼル

種蒔 カラビイ

家作 ストロイル

動ク ニシニユール

洗 洗フハ ニヨ
洗ウ モエ

薪 ドロウ

焼 シヤーレイ

精進 ボーシナ

縫 セイ

尋 イスカヨ

初ム ナム

出ル ナタイ

進物 ゴシテノツサ

典當 サウクラ子
シナ

味 フロス

豆腹 コールゼン

沈 オワトニル

恩 ルーゼー

呼 ゾウエ井

浴 コバイ

材木 レース

奠 ワリイノ

美味 フロスホウシヨ
食物好ヒ者

食時分 バン

教 オナウ

罰 ケライカ

痛　キルノ　痒　スレツサ　癩病　コリヤテカル

疫病　オスハ　疫病ともゆ　花四の人ゑきとそハ　オスハベリ　ハ

頭痛　ブツキルノ　鼻衄　イスエモフ　イチヨウ　青眼　天疳　ツンヤ

強健　ケレブロ　下痢　ハラニアトス　ホリノ　鉄膏　名不見

唖　名不見　癲病　名不見　ハ病名人ムケ

乳不收　子モクト　赤ニツ

赤　下ヲ子ヲ　ナツトセイヤ　雑色ごさうまれ　ホコさうまれ　おツコノニテボラゴタリヨ

おと行しれと子　ホねめそろし　おツコノニテ　ホラダザストイ

[illegible]
[illegible] キイ ボタシ [illegible]れ [illegible] [illegible]れ [illegible] ナッドロイヤ

[illegible] カコイ [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible] [illegible]

[illegible]

行てまいる　ヤスダイ

行てまいる　ヨッスタイ

行こだ　ヨウ

行く用でいらっしゃいました　ヨウ　イズク

能仮　アヒヤダルニ　後へた

こちらへ呼　ワテ　サセ

もらうされ　こちら　ヌセ

酒をおくれ　ライナ　ビイ　酒　ドれ　モノコ　クーニャイ

茶をのんでごされ　オヤユ　ツーキイ

あとをいられ　ラトデ　ビイ　ヒイい　呑めろ

後ろあと
のうよ

タバココレ　コレハノメヤリ　ハシテ　ハ見ル　ホーニーレ

行ても　ハシテ
さつやれ

ヨヨツ　ヨイ　ホゴーレ

今日ハ
来ました

ショラージ　ホーロッテ
今日　来ル

あの人
ハ　ハ　ハ
ハ　ハ　ハ

カレニーレル

行の人の主居を
又たと　ハ　ハ

カレゴーレル　スモテレル　カメーシイ
見タ　主居

見ました
ハ　ハ　ハ

スモテレル　ヨーレル

とても　ハ　ハ
ハ　ハ　ハ

カニワレ　ホロシヨリ

子どもら
ハ　ハ

おシトウセリゼツカ　行て　ハ　ホシトウ
子ら　アシ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

容姿
カラナイサ　容顔の美しい　ニホンバイフコトヨ
これを選
アイカ　これを　モシヨル　セイライラ　ニーライカ
ほくられ
モシテレ　セイライイ
選られ
ヌモシセシ　セイライサ
出芸を
ヒセイ　イスカイ　ヒオロブノ
仕をめ
コトーラ　ヒた　オンニノワイ
らそてい
ヌオンニノワイ　つきもの　ボラニ
仕花みわら
スドツトヨ　いれい仕と　アイ　タカキナブヨ

これは
まて
アイタ　チョウ　ヒロイ　トーロク
行と
ちゃる　セライ　行とえ
ちゃる　チョウ　スミテル
十曲と
うた　ビーナ　ボニタ　ダメ　ダメ　ダメ

右之流一編い彼邦諸国の一ちゃ〳〵ちゃ
漂客る茶遊ち遊ぶい彼ちゃと此のちゃ
も多ちゃ一ちゃ又遊ぶ忘せーも多き語へ彼人と
雑居ちゃの居いちゃ〳〵ちゃも用の矣する彼い

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]